

ブラジル最新政治経済情勢について

Insights from UBS Asset Management

ポイント

- ・ブラジル大統領、第1回投票ではボルソナロ候補が大差で首位、28日の決戦投票でアダジ候補と一騎打ち
- ・ボルソナロ候補の圧勝を市場は好感し、10月8日のブラジル市場はトリプル高
- ・新政権における改革路線の継承期待と回復基調のファンダメンタルズが通貨レアルの追い風

ブラジル大統領選：ボルソナロ氏が大差で首位、28日に決選

- ✓ 10月7日に実施されたブラジル大統領選の第1回投票で、投資家が好むジャイール・ボルソナロ下院議員が大差で首位に立ちました。選挙戦での既成政党の汚職体質への強い批判が、長年にわたる景気後退や汚職スキャンダル、犯罪の増加に憤る有権者の支持に繋がったと見られています。
- ✓ 世界的な右派・左派の二極化、中道派の凋落の潮流が強まる中、ブラジルでも既成政治の打破を掲げる異色のポピュリスト政治家への人気が高まっています。ボルソナロ氏率いる社会自由党（PSL）は議会選挙で旋風を巻き起こし、下院では8議席の弱小政党から50議席を上回り、労働者党に続く第二政党への躍進が見込まれています。ボルソナロ氏は第1回投票で当選を決めるために必要な過半数に届かなかったため、28日の決選投票で労働者党（PT）候補フェルナンド・アダジ氏（得票率は29.1%）と対決することになります。

候補者	ボルソナロ下院議員 (63) 「ブラジルのトランプ」との異名	アダジ元サンパウロ市長 (55) 高い人気を誇る「ルラ元大統領の後継者」
政党	PSL (社会自由党・極右)	PT (労働者党・左派)
政党規模	少数政党	最大野党
年金改革	緩やかに推進	反対
財政政策	基礎的財政収支黒字化 (2020年迄)	歳出上限法の撤回
金融政策	中銀の独立性維持 ゴールドフィン總裁続投	雇用目標を導入
民営化	賛成	反対
その他	汚職撲滅、税制簡素化、リベラルな経済顧問登用、 女性やマイノリティー軽視、軍事独裁政権の礼賛	低所得者向け貧困対策、富裕層増税、 公共投資の再開
第一回投票 得票率	46%	29%

逆風を旋風に変えたボルソナロ候補

- ✓ 今回の選挙戦では、「ソーシャルメディア」が過去にないほどの影響を与えたと見られています。ボルソナロ氏は、政見放送での露出時間等で、既成勢力に対して圧倒的に不利な状況で勝利を手にしました。アダジ氏のテレビ放映時間2分20秒(1日)に対し、ボルソナロ氏は9秒でした。
- ✓ 同氏は、遊説中に暴漢に襲われ重傷を負い、投票日の1週間前まで入院していましたが、活動を再開し、12日以降のテレビ討論会に参加予定です。決選投票に向けてボルソナロ氏のテレビでの露出時間はアダジ氏と同じになり、1回目投票で大きく不利だった状況が解消されます。

第1回投票を受けた市場の反応及び今後の見通し

市場は選挙結果を好感し、トリプル高へ

- ✓ ブラジル大統領選でボルソナロ氏が予想を上回る46%の得票率を確保したことを受け、ブラジル株は2016年3月以来の大幅高となった他、通貨リアルやブラジル債も上昇しました。
- ✓ 左派で年金改革や財政赤字削減に消極的なアダジ候補よりも、年金改革の継続や民営化などの経済政策を掲げるボルソナロ氏への支持拡大が市場では好感されています。また、ボルソナロ氏はリベラルな経済顧問登用やゴールドファイン総裁の続投の意向を示しています。

決選投票に向けて

- ✓ 市場は、ボルソナロ氏の差別的な言辞や改革を通過させる能力に対し、楽観的な見方をしています。決選投票に向けて、過激な発言を控え、低所得者層を支持する姿勢が必要と見られています。
- ✓ 一方、今後アダジ氏が28日の決選投票で逆転勝利を収めるためには、政治姿勢を中道寄りにした上での連立拡大などの対応が必要と見られています。「アダジはルラ、ルラはアダジ」とのスローガンで、ルラ元大統領の人気に頼ってきたアダジ氏は、汚職撲滅を掲げられない事情があります。「既成政党の打破」を掲げるボルソナロ候補に対

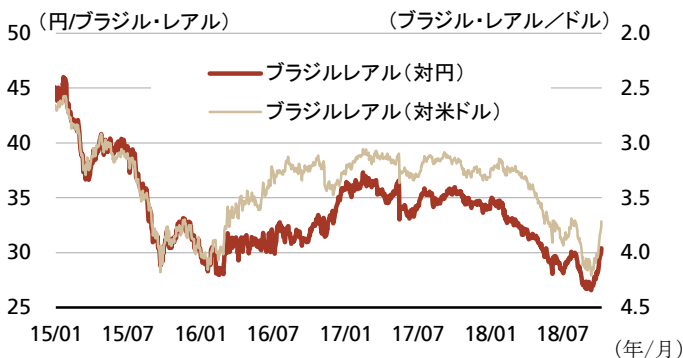
し厳しい戦いが予想されます。UBSグループでは7対3でボルソナロ候補が有利と見えています。

足元のブラジル・レアルの反発について

- ✓ 対円でのブラジル・レアルは8月30日に26.38円の年初来安値を付けた後、事前の世論調査で年金改革や財政赤字削減に前向きなボルソナロ候補への支持がアダジ候補を上回って拡大した動きを好感し反発傾向が続きました。選挙直前には29円台半ばとなり、投票結果を受けて8日以降には30円台を回復しています。
- ✓ 対ドルでも、史上最安値(1ドル=4.24レアル)に近づいた後、米国の利上げ継続、米長期金利の急上昇の中、1ドル=4.2台から3.7台へ、レアルは10%を超える大幅反発を見せています。ボルソナロ氏が決選投票で勝利し、年金改革の継承が可能となった場合、レアルは対ドルで3.0-3.5のレンジに回帰する可能性も出てきました。
- ✓ トルコ発の新興国通貨売りが一服したことに加え、最近発表されたブラジルの経済指標が景気の回復基調を示したことも追い風となっています。また、インフレ率が落ち着きを取り戻しつつあり、今後もブラジル・レアルが回復基調を維持すれば、中央銀行は年末まで政策金利を据え置くことが予想されます。他の新興国のような通貨防衛の利上げを回避し、歴史的な低金利環境が続くことになれば、ブラジル景気とレアルにプラス材料となります。

■ブラジル・レアルの推移

(2015年1月1日～2018年10月9日)



出所：トムソンロイター。上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

商号： UBS アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第412号
加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとにUBSアセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2018. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。